



問 東部消防署南風原分署前、県道128号線から国道507号へのぼる階段は夕方になると暗い。木が折れて南星中学校生徒の登下校に支障がある。防犯灯を設置して階段を明るくし、木々も伐採して整備せよ。

まちづくり振興課長 所有は国土交通省の土地だが、管理は町になっているので木々はすぐに伐採した。防犯灯は今後必要かどうか検討したい。



問 東部消防署南風原分署東側の町道73号線の歩道は草木が繁茂して通行できない。改善できないか。

副町長 町道73号線については、自治会と協議の上、改善していく。

こども医療費助成事業を問う

問 県は2022年4月から通院時にかかる費用の助成対象を中学校卒業まで拡大する方針を発表した。県の助成拡大によって町のこども医療費助成金はどれくらい削減できるか。

副町長 今回の通院対象年齢の拡充により、令和元年度ベースで試算すると県からの補助金が約4,400万円増額する見込みである。

問 猫に対する苦情などの状況はどうか。

町長 敷地内に「ふん尿をする」、「生ごみをあさる」、「鳴き声がうるさい」など町内全体的に苦情がある。



問 本事業の概要と本町に何匹のさくらねこがいるか。

町長 さくらねこ事業とは「飼い主のいない猫」を捕獲し、不妊去勢手術を行い、「地域の猫」として一代限りの命を全うさせ、苦情や殺処分の減少に寄与する活動。本町には31匹いる。

問 捕獲機の確保など体制を整えるのは、町の役目ではないか。

町長 事業主体である県の調査も含め検討していく。



障がい者の親なき後の相談は

問 障がい者は親を亡くされた後、何処に相談にいけば良いのか。

町長 市町村で相談を受けて、その後、サービス事業所や、障がい者の支援施設、事業所につなぐ。社協のコミュニティ・ソーシャル・ワーカーについては、障がい者の地域の主な相談窓口となっている。

問 障がい者の地域生活支援拠点はどうなっているか。

町長 国の計画の基本指針に令和5年度内整備の目標があり、本町もその目標に向けて取り組む。